



ワンパス・ヒッチ

ProCore® プロセッサ

モデル番号09753-シリアル番号 31000001 以上

取り付け要領

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	リンク・ピン 六角ナット ワッシャ サポート・アーム(右側) サポート・アーム(左側) ワッシャ ジャム・ナット リンチ・ピン ヒッチ・クロス ネジとボルト_2x2; ワッシャ ロックナット(1/2 in) リンク・ピン リンチ・ピン リンク・ピン リンチ・ピン ピン・アセンブリ ネジとボルト_1.2x1-3_4; ワッシャ ロックナット(1/2 in) パイプ・スペーサ ピボット・ヒッチ ワッシャ ロックナット(1 in)	2 2 2 1 1 2 4 2 1 8 16 8 1 1 1 1 1 4 8 4 4 1 2 1	サポート・フレームを取り付けます
2	牽引アーム(右側) 牽引アーム(左側) フラグ・ピン ネジ(3/8 x 1-1/4 in) フランジ・ナット 取り付けタブ ネジ(1/2 x 2-1/4 in) ワッシャ ロックナット	1 1 2 2 2 1 4 8 4	牽引アームを取り付けます
3	ヒッチ・ピン リンチ・ピン	2 2	コア・プロセッサをエアレータに取り付けます

1

サポート・フレームを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	リンク・ピン
2	六角ナット
2	ワッシャ
1	サポート・アーム(右側)
1	サポート・アーム(左側)
2	ワッシャ
4	ジャム・ナット
2	リンチ・ピン
1	ヒッチ・クロス
8	ネジとボルト_2x2;
16	ワッシャ
8	ロックナット(1/2 in)
1	リンク・ピン
1	リンチ・ピン
1	リンク・ピン
1	リンチ・ピン
1	ピン・アセンブリ
4	ネジとボルト1_2x1-3_4;
8	ワッシャ
4	ロックナット(1/2 in)
4	パイプ・スペーサ
1	ピボット・ヒッチ
2	ワッシャ
1	ロックナット(1 in)

手順

注 エアレータがトラクタに取り付けられている場合には、エアレータを降下位置まで下ろし、トラクタから切り離してください。

1. 以下の要領で、リンク・ピンをサポート・アームに取り付ける：

A. 各リンク・ピンに六角ナットを取り付ける(図 1)。各リンク・ピンにワッシャを通す。

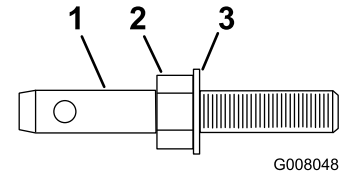


図 1

1. リンク・ピン
2. 六角ナット
3. ワッシャ

B. 以下の要領で、リンク・アームの取り付け位置を決定する：

- ・ エアレータの下取り付けタブ間の距離が 52.7 cm から 57.5 cm の場合 (プロコア 660 や 880 エアレータの場合)、図 2 に示すように、取り付けタブが内側になるようにして、リンク・ピンをサポート・アームに取り付ける。

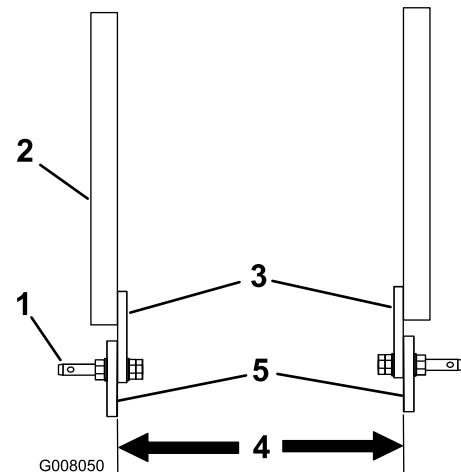


図 2

1. リンク・アセンブリ
2. サポート・アーム
3. 取り付けタブを内側に
4. 52.7 cm ~ 57.5 cm
5. エアレータ取り付けタブ

- ・ エアレータの下取り付けタブ間の距離が 66.7 cm から 71.4 cm の場合 (プロコア 864 の場合)、図 3 に示すように、取り付けタブが外側になるようにして、リンク・ピンをサポート・アームに取り付ける。

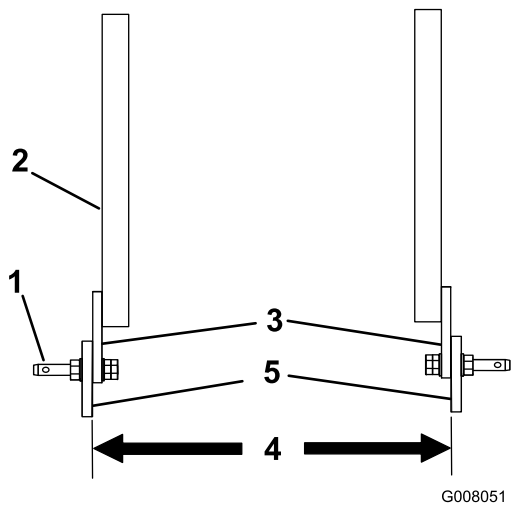


図 3

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. リンク・アセンブリ | 4. 66.7 cm~71.4 cm |
| 2. サポート・アーム | 5. エアレータ取り付けタブ |
| 3. 取り付けタブを外側に | |

C. ワッシャとジャムナット (2個) を使って、各サポート・アームとエアレータ取り付けタブにリンク・ピン・アセンブリを取り付ける (図 4)。

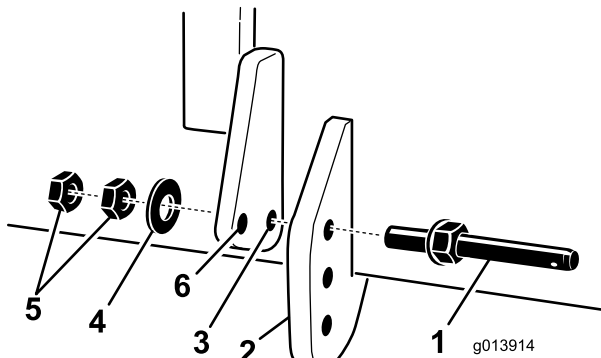


図 4

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. リンク・アセンブリ | 4. ワッシャ |
| 2. エアレータ取り付けタブ | 5. ジャム・ナット |
| 3. サポート・アーム | 6. 取り付け穴(オプションとして) |

2. ネジ (1/2 x 4 in) (8本)、ワッシャ (16枚)、ロックナット (8個) を使って、サポート・アームをヒッチ・クロスに仮止めする。取り付け位置は図 5を参照。

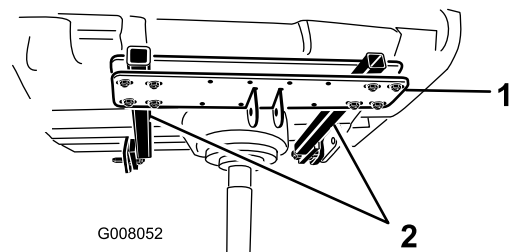


図 5

- | | |
|------------|-------------|
| 1. ヒッチ・クロス | 2. サポート・アーム |
|------------|-------------|

3. リンク・ピンとリンチ・ピンをつかって、下ヒッチ・クロスのタブをエアレータのブラケットに固定する (図 6)。

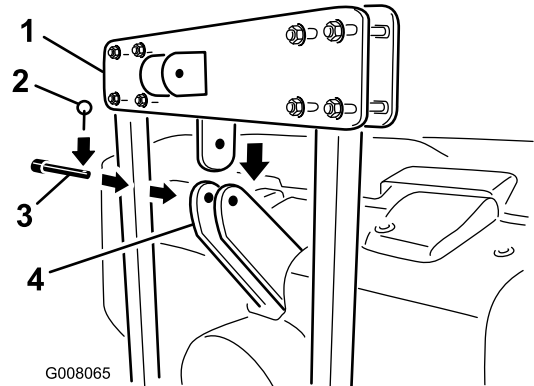


図 6

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 下ヒッチ・クロス | 3. リンチ・ピン |
| 2. リンク・ピン | 4. エアレータのブラケット |

4. ヒッチ・クロスをサポート・チューブに固定しているナットを締めつける。

5. リンク・ピンに左右の下リンク・アームを挿入してリンチ・ピンで固定する (図 7)。

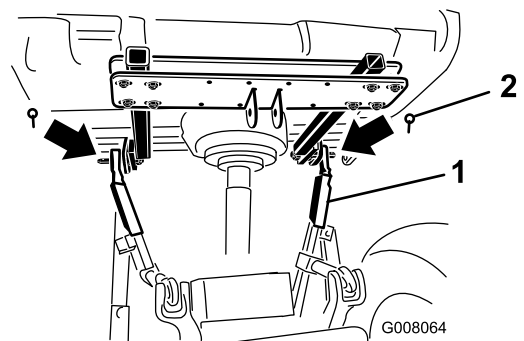


図 7

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 下リンク・アーム | 2. リンチ・ピン |
|-------------|-----------|

6. ヒッチの上リンクをヒッチ・クロスタブに接続し、リンク・ピンとリンチ・ピンで固定する (図 8)。

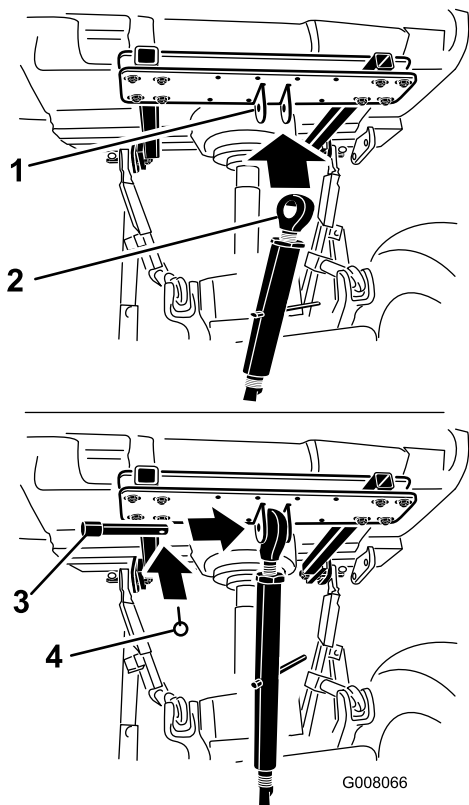


図 8

1. ヒッチ・クロスタブ
2. ヒッチの上リンク
3. リンク・ピン
4. リンチ・ピン

7. 調整リンクを回してリンクを締める (図 9)。締めすぎるとエアレータの後部が浮き上がってしまうので注意する。

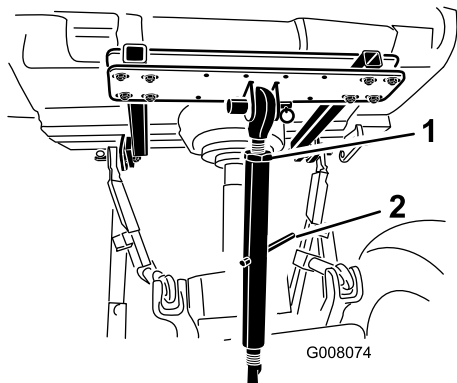
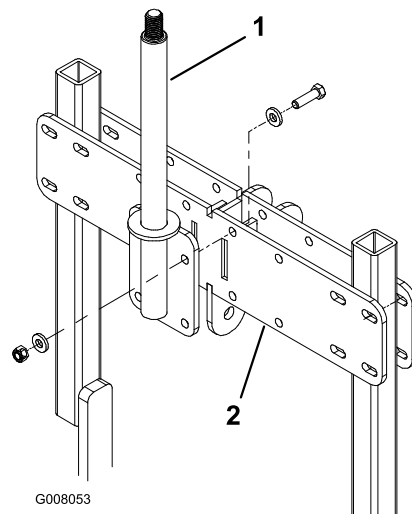


図 9

1. ロックナット
2. 調整リンク

8. ロック・ナットを締めて上リンクの調整を固定する (図 9)。

9. ネジ (1/2 x 1-3/4 in) (4本)、ワッシャ (8枚)、ロックナット (4個) を使って、ピン・アセンブリをヒッチ・クロスの後部に取り付ける (図 10)。プロコア 880 とプロコア 864 の場合には中央の取り付け位置を使用し、プロコア 660 の場合には、図 10 に示すオフセット位置を使用する。

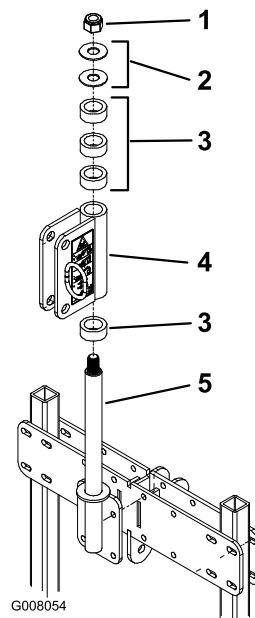


G008053

図 10

1. ピン・アセンブリ
2. ヒッチ・クロス

10. ピン・アセンブリに、パイプ・スペーサとピボット・ヒッチを通す (図 11)。



G008054

図 11

1. ロックナット
2. ワッシャ
3. パイプ・スペーサ
4. ピボット・ヒッチ
5. ピン・アセンブリ

11. ピン・アセンブリに、パイプ・スペーサ (3個) とワッシャ (2枚) を通す。このアセンブリを1in ナットで固定する (図 11)。

2

牽引アームを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	牽引アーム(右側)
1	牽引アーム(左側)
2	フラグ・ピン
2	ネジ(3/8 x 1-1/4 in)
2	フランジ・ナット
1	取り付けタブ
4	ネジ(1/2 x 2-1/4 in)
8	ワッシャ
4	ロックナット

手順

1. Mフラグ・ピンを使って、牽引アームを、コア・プロセッサの前部にある各タブに取り付ける(図 12)。ネジ(3/8 x 1-1/4 in)とフランジ・ナットを使って、フラグ・ピンを牽引アームに固定する。牽引アームは図 12のように組み付ける。

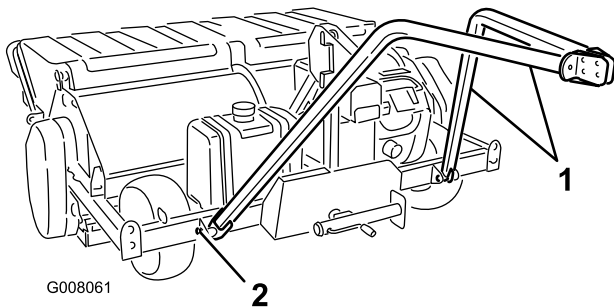


図 12

1. 牽引アーム
2. フラグ・ピン

2. ネジ(1/2 x 2-1/4 in)(4本)、ワッシャ(8枚)、ロックナット(4個)を使って、取り付けタブを2本の牽引アームの前部の間に固定する。タブは図 13のように組み付ける。660 エアレータには前の穴を使用し、864 および 880 エアレータには後の穴を使用する。

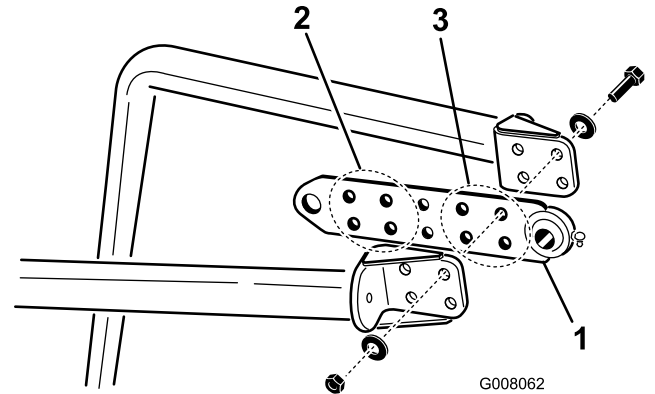


図 13

1. 取り付けタブ
2. 864 および 880 エアレータに使用する穴
3. 660 エアレータに使用する穴

3

コア・プロセッサをエアレータに取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	ヒッチ・ピン
2	リンチ・ピン

手順

1. 牽引アームを持ち上げておき、積荷固定用のロープなどを使って、牽引アームのヒッチ・プレートをフレーム・ヒッチのピボットに固定する(図 14)。

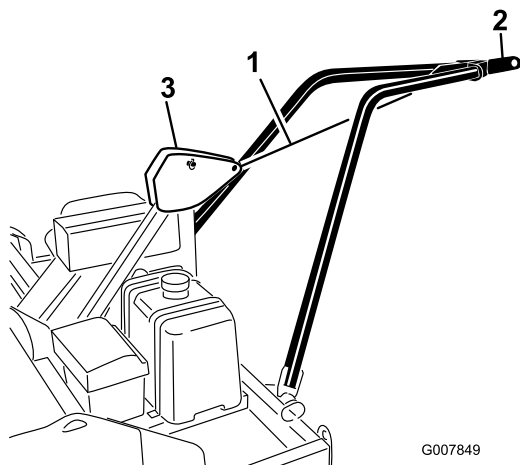


図 14

- 1. 積荷固定用のロープなど
- 2. 牽引アームのヒッチ・プレート
- 3. フレーム・ヒッチのピボット

- ・ プロコア 660 エアレータの場合には、コントロール・リンクをフレーム・ヒッチ・ピボットの後穴に接続する。
- ・ プロコア 864 および880 エアレータの場合には、コントロール・リンクをフレーム・ヒッチ・ピボットの前方に接続する。

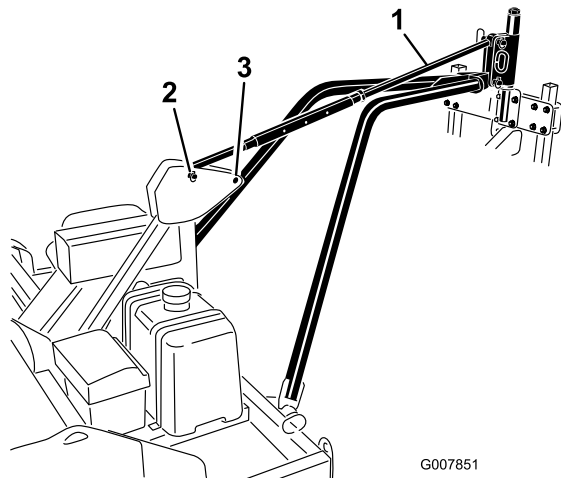


図 16

- 1. ピッチ・コントロール・リンク
- 2. 前取り付け穴
- 3. 後取り付け穴

2. トラクションユニットを後退させてコア・プロセッサの正面に停車する。
3. 積荷固定ロープなどで固定していた牽引アーム・ヒッチ・プレートを解き、エアレータのヒッチ・ピボットにセットする (図 15)。

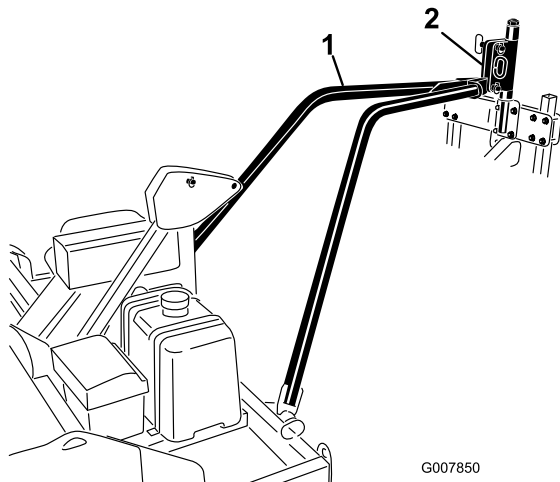


図 15

- 1. 牽引アームのヒッチ・プレート
- 2. エアレータ・ヒッチのピボット

4. 牽引アーム・ヒッチ・プレートの穴を、エアレータのヒッチ・ピボットの下側の穴に合わせる (図 16)。
5. ヒッチ・ピンとリンチ・ピンを使って、牽引アームのヒッチ・プレートを、エアレータのヒッチ・ピボットに固定する (図 16)。
6. エアレータを床面まで降下させる。
7. ヒッチ・ピンとリンチ・ピンを使って、ピッチ・コントロール・リンクを、エアレータのヒッチ・ピボットの上穴とフレーム・ヒッチ・ピボットに固定する (図 16)。

8. 油圧ホースをトラクタ側に引き込み、クイック・カップラに接続する。油圧ホースが、プロセッサおよびトラクタに正しく接続されているのを確認すること。
9. コントロール・ハーネスを、トラクタの運転席に配置する。
10. 結束ひもを使って、油圧ホースとワイヤ・ハーネスを牽引アームに固定する。

重要 トラクタを左右に旋回させる際に油圧ホースに力がかかって接続がはずれたりホースが破損したりすることのないようにしてください。

メモ:



Toro 製品の総合品質保証

限定保証

保証条件および保証製品

Toro® 社およびその関連会社であるToro ワランティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品（「製品」と呼びます）の材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証は、エアレータ以外のすべての機器に適用されます（エアレータ製品については別途保証があります）。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワー・メータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われる場合には、「製品」を納入した弊社代理店（ディストリビュータ又はディーラー）に対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

「製品」のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません：

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクセサリーや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。オペレーターズマニュアルに記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレイキ・パッドおよびライニング、クラッチ・ライニング、ブレード、リール、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、その他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェック・バルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro 販売代理店（ディストリビュータまたはディーラー）へおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合はToro輸入元にご相談ください。輸入元の対応にご満足頂けない場合はToro ワランティー社へ直接お問い合わせください。

部品

定期整備に必要な部品類（「部品」）は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

注記：ディーブ・サイクル・バッテリーの保証について：

ディーブ・サイクル・バッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量（kWh）が決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

保証の対象とならない部品や作業など：エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。

商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。米国内では、間接的偶発的損害にたいする免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。

この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

エンジン関係の保証について：

米国においては環境保護局（EPA）やカリフォルニア州法（CARB）で定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、オペレーターズマニュアルまたはエンジンメーカーからの書類に記載されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧ください。